寫眞週報

情報局編輯

十一月四日・第二百四十五號・十セン

昭和十三年二月十八日 第三種郵便物認可 昭和十七年十一月四日發行（毎週一回水曜日發行） 第二百四十五號

なかなか君は頑健さうだな
眞珠湾に散つた九軍神も
かつては、君のやうな青年だつた
やれるさ
君にだつて
軍艦旗が、君を招いて
潮風にはためいてゐるぞ

君等も早くヤつて來い

ぼくら海軍志願兵の生活

⇦ オールが折れるか、腕が折れるか、意氣上る志願兵のカッター訓練

横須賀海兵團

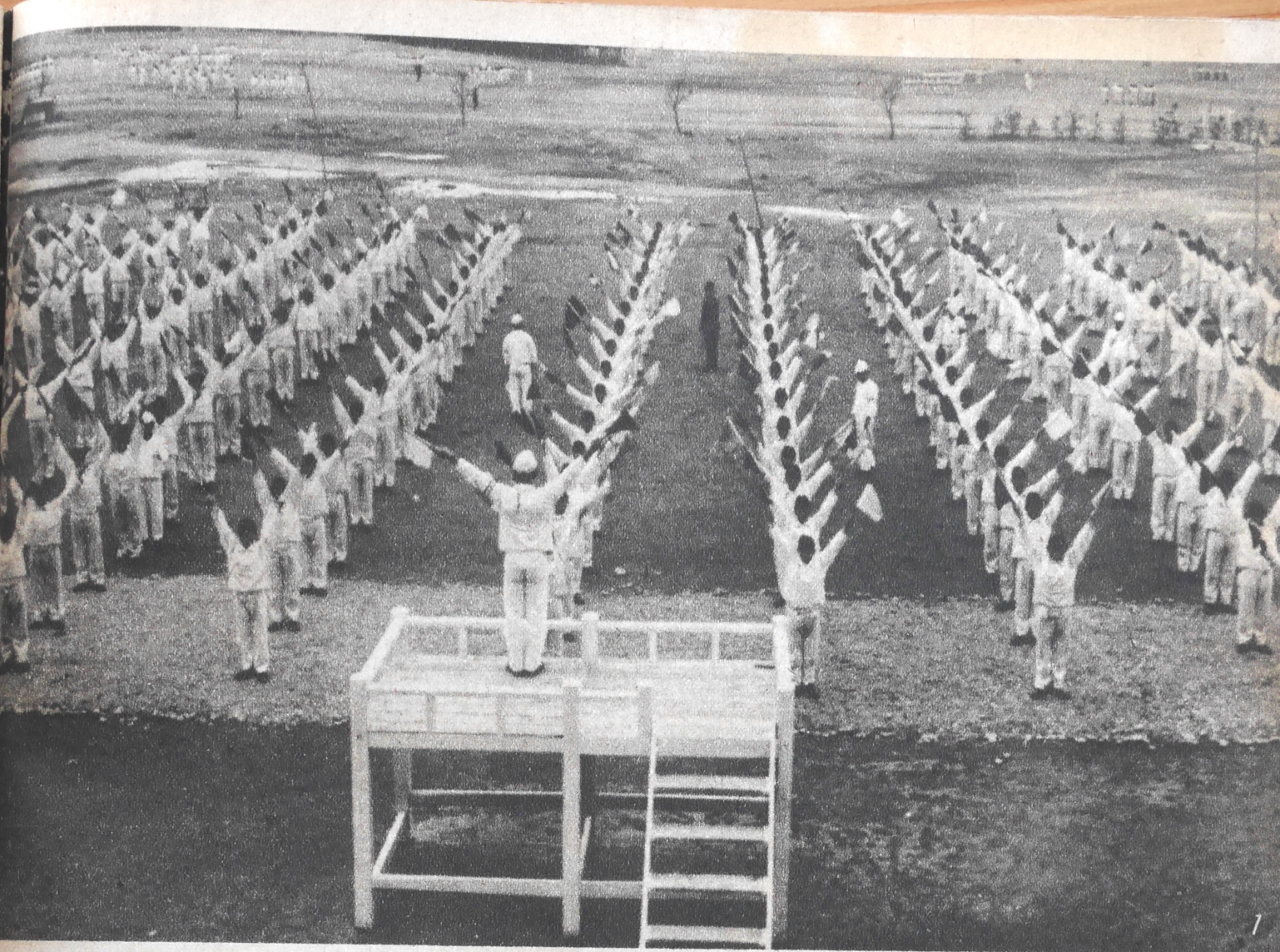
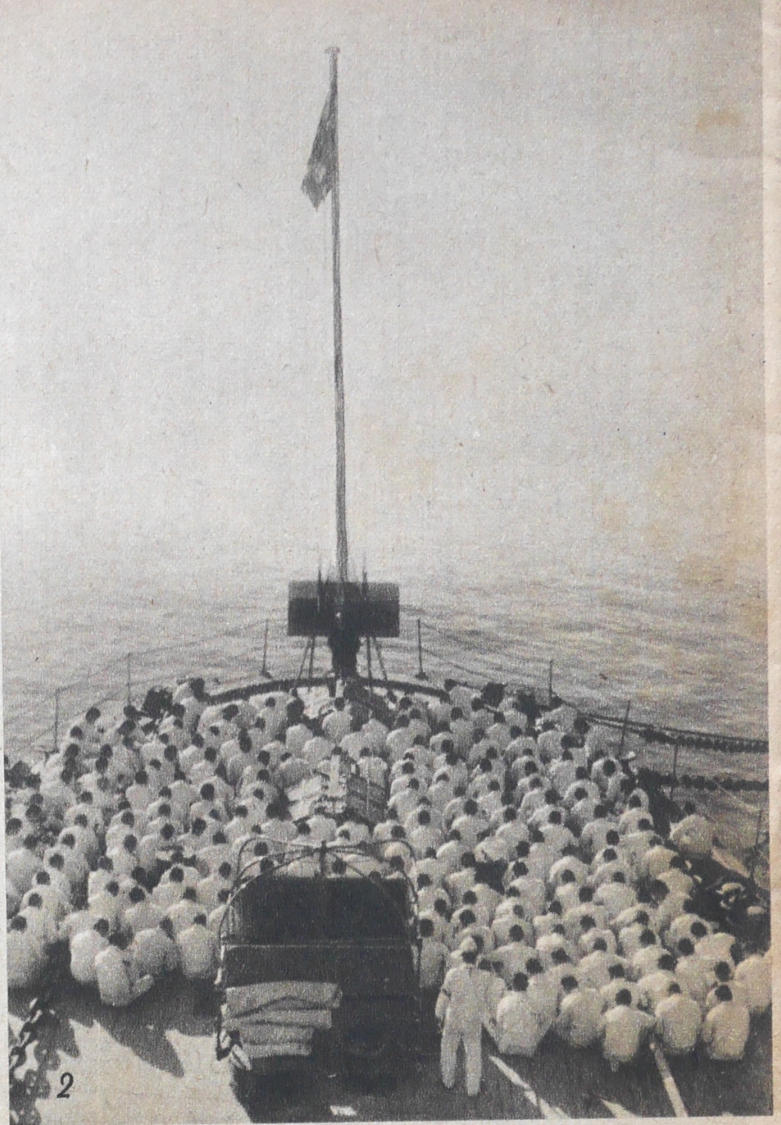
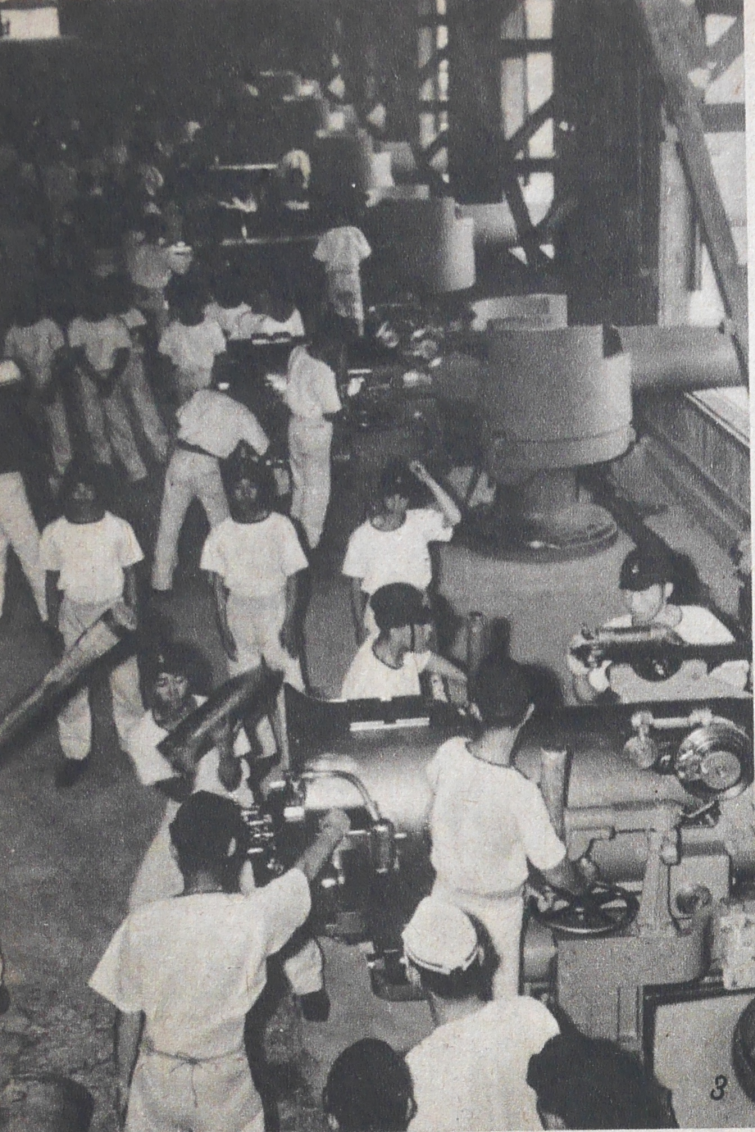
K君

早いものだね。僕が志願兵として海軍にはいつてから、もうかれこれ一年になるよ。海軍の訓練は月月金金と日曜がないといはれるやうに、僕たちも毎日學課に教練に、猛訓練を勵んでゐる。僕たちの生活ぶりは寫眞によつてわかつて貰へるから省くとして、海軍を志す君へ海兵團の雰圍氣や志願兵の兵種にどんなものがあるかといふことから、多少とも參考になる便りをしよう

君もご存知だらうが、わが海軍の戰線は今や太平洋だけではなく、大西洋にまでのびた。この間に擧げられた赫々たるわが戰果は　御稜威のもと先輩將兵の勇戰奮鬪の賜であるが、戰ひはまさにこれからだと思ふ。さう思ふと腕が鳴るね。僕が擊つ砲彈の一發で、敵艦を擊沈することができると思へば痛快ではないか。僕たち志願兵はよるとさはると、この腕で何十隻の敵艦を沈め、何百の敵機を射ち落すかと、まるで獲らぬ狸の皮算用ではないが、天晴れの海兵ぶうた話に花を咲かせてゐる

氣焔はこの位として、さて、志願兵の兵種に水兵のあることは誰でも知つてゐるが、この水兵のうちにも一般水兵と少年水測兵、少年電信兵とがある。一般水兵の主な役目は、僕のやうに大砲を受持つものや、水雷又は測的關係、艦艇の運用や信號等の職務にたづさはるものがある。水測兵といふのは昭和十七年度に新たに採用されたもので、敵の潜水艦や軍艦の所在を測定するのが主な役目だ。電信兵の任務はご存知の通りだ。次ぎは飛行兵（乙種飛行豫科練習生）、これは少年飛行兵と呼ばれるもので、海軍練習航空隊に入隊して特別の教育を受ける荒鷲の候補だ。このほかに航空機の機體、發動機と兵器の整備取扱に當る整備兵。汽罐、機械、電氣機械を取扱ふ機關兵。鍛冶、鑄造、潜水作業などに從事する工作兵。ちよつと變つたところで、軍樂兵がある。衞生兵、主計兵のあることはご存知だらう。以上が志願兵の兵種だが、さてこのうち君がどの兵種を選ぶかお父さん（親權者）とよく相談して、期日におくれないやうに至急志願書を市、區役所または町村役場に提出し給へ、君の來るのを鶴首して待つてゐる。たしか、今年の志願兵の檢査は、横須賀鎭守府管下では十月上旬、佐世保、舞鶴管下では十月下旬、呉鎭守府管下では十一月上旬からそれぞれ開始されてゐるから念のため申し添へておかう

横須賀海兵團
H生

君等も早くやつて来い
ぼくら海軍志願兵の生活

1 一糸亂れぬとはこのこと、鮮やかな手旗信號

2 潮風を胸一ぱいに志願兵たちは艦上を教室に學課を學ぶ

3 轟然一發、敵艦を撃沈する日も近いぞ——必殺の砲撃訓練

4 一日の訓練を終へ樂しい入浴。背中を流し合へば疲れもさらり・・・・

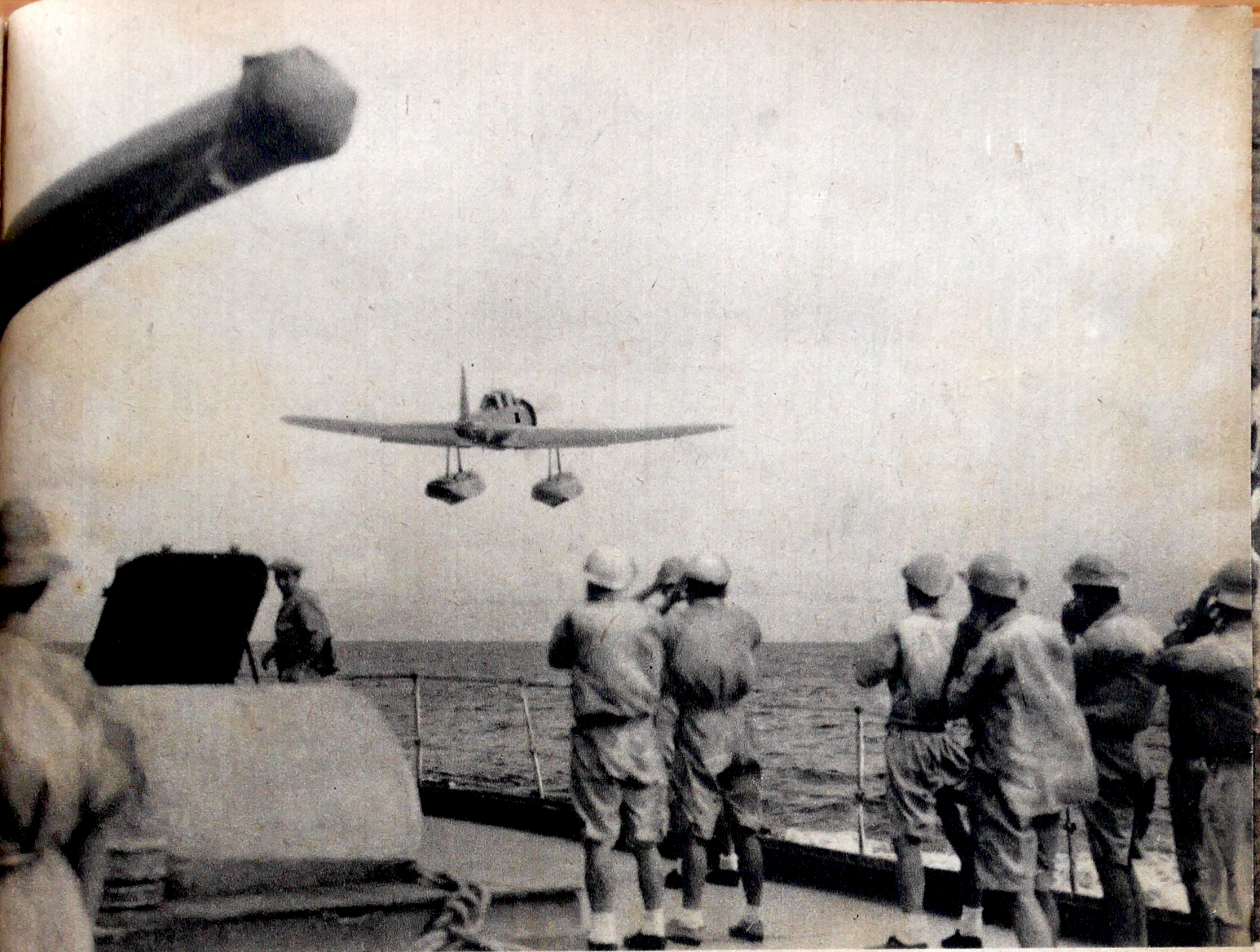
5 けふのご馳走は肉のうま煮だ。ブッツと齒應へも強くうまい夕飯だ

6 錨のマークに護られて、吊床の夢路は深い

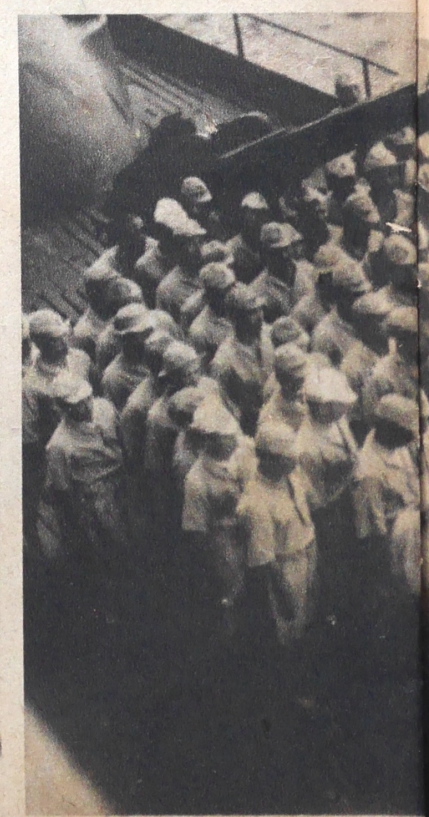
7 僕等は海軍志願兵今に行くぞ戰場へさあ、君もやつて來い！

南で北で先輩は奮闘中だ

⇧カタパルトで打出されたわが艦載機は洋上遙か來敵に向ふ

敵艦の艦橋を狙ふ一發必中の巨彈は裝塡される⇩

撮影
宮川海軍報道班員
平出海軍報道班員
國平海軍報道班員
[illegible]海軍報道班員

⇩潜水艦の網は何處に張られる？　出撃を前にして艦長の訓示は海上に凜とひゞく

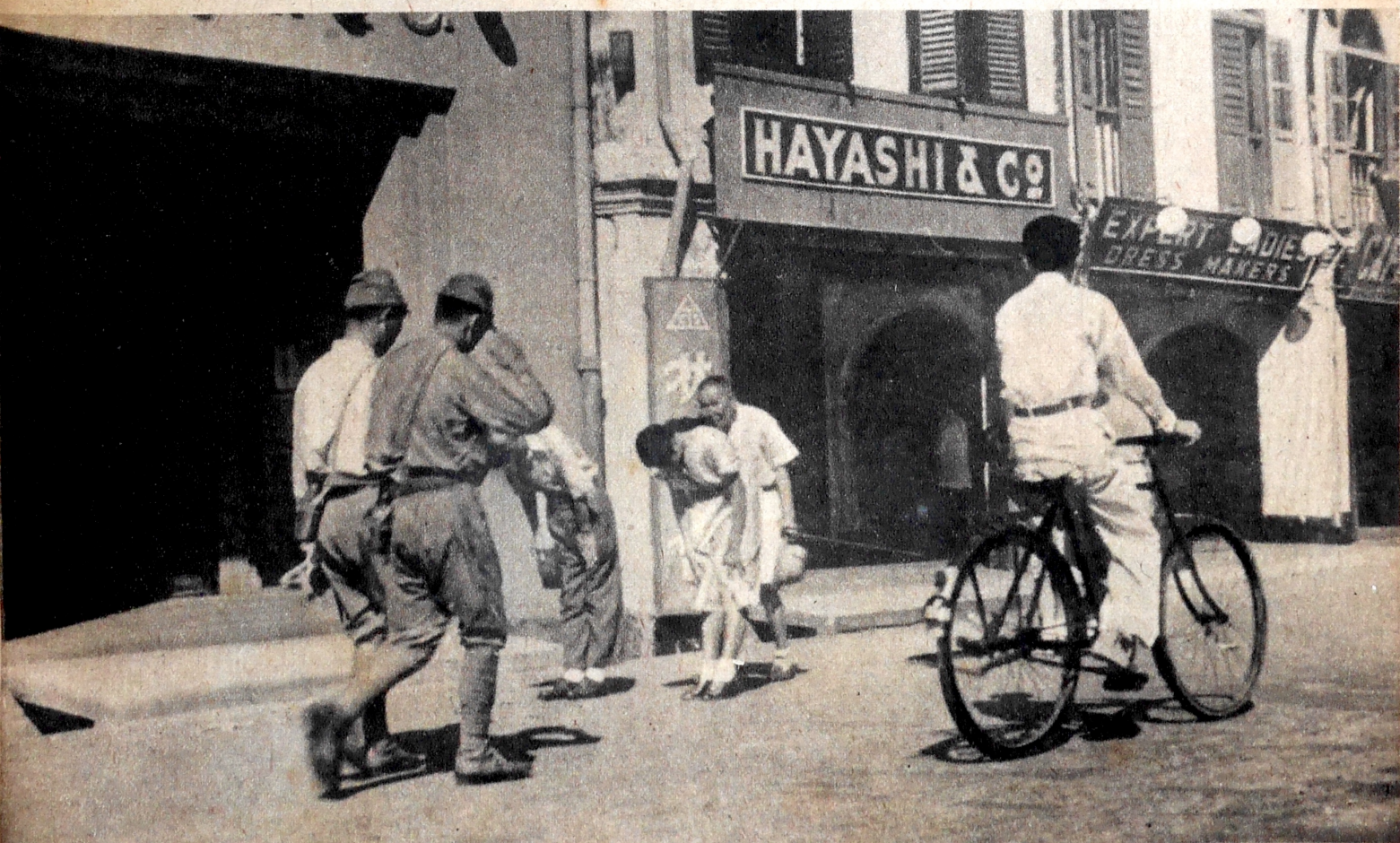
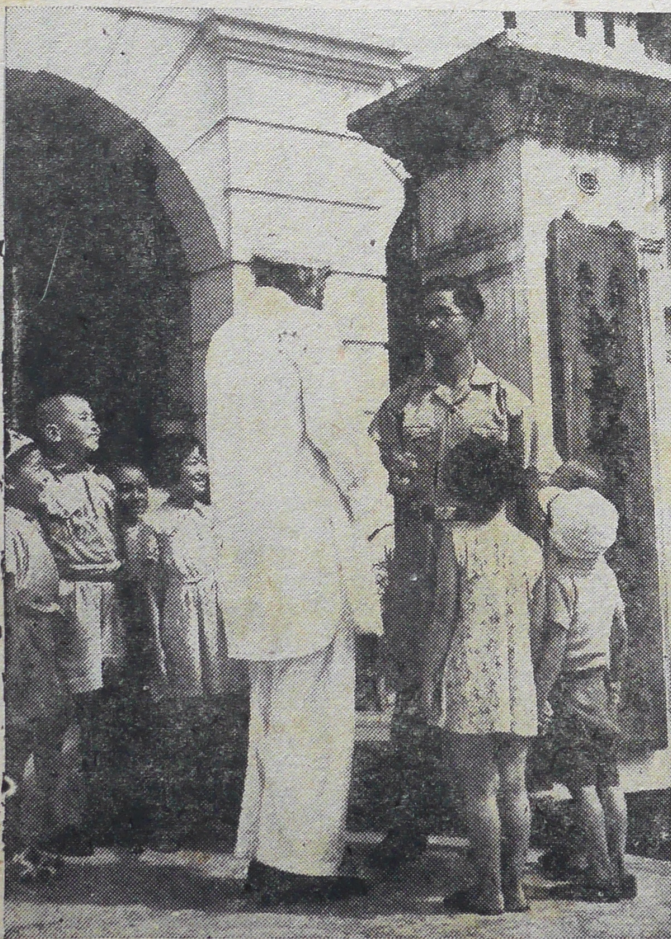
⇦寒風と鬪ひ北海を護る潜水艦――二つ、三つ、四つ見張勤務員の眼は一點に集中された

街も心も生れ變つて
昭南島に歸還した人々

⇨ヘルメットに運動靴、手廻り品だけ持つたお婆さんも『息子と一緒にも一度こゝで働く』と、涙ぐましい雄々しさだ

シンガポールから昭南へ、見るものすべてが目新らしく感じられるほどこゝは變つた。英人が威張り散らしたのは昔のこと、こゝは旣に日本の領土だ⇩

マレー、スマトラ、ボルネオ、ビルマ方面から拉致されてゐた邦人たちの大部分は先だつて日英交換船龍田丸で日本の新領土として生れかはつた昭南島へ感慨深く歸還したが、戰前早くも南方の第一線に營々、日本の前進部隊として活躍してゐた五百餘名の人々は老いも若きも、更生の歡喜を新たな勇氣にかへて、南方の豐富な知識と經驗に物いはせ、新建設に挺身、協力することになつた

撮影　陸軍報道班

⇦『皆さん、永い間御苦勞様でした』下船を前に關係當局から戰爭の經過や、南方占領地に對するわが建設方針などについて行きとゞいた說明が與へられた

⇨來て見れば、彈痕の凄じさに當時の激戰がしのばれるが、店は思つたほど壞れてゐない『よし、もう一回頑張らう』

⇦自分のお家を見た子供たちはその足ですぐ僕達の學校へかけつけた。先生もお出になつた。近所のインド人のをぢさんがいろ〱當時のことを話してくれる

南方離着陸記（下）

陸軍省報道部部員
陸軍少佐 竹田光次
撮影と記事

⇨昭南島にある或る華僑の住宅

⇦兵隊さんは馬車に乗つて日曜の[illegible]

現地人の生活

次ぎは現地住民、つまりマレー、ビルマ、インドネシア、フィリピン人等の生活振りである。彼等は昔ながらの素朴な生活に甘んじてゐる。簡單な衣服、簡單な住居、簡易な食事、衣、食、住が安い。從つて皆のんびりしてゐる。性善良である。利害損得といふやうな凡そ近代社會の生んだセチ辛さがない。踊りや歌が好きで、樂天的なところは日本人と同じである。踊り方を見てゐると日本の盆踊りそのまゝだ。劍舞のやうなものもある。腰卷や褌などがあることを思ひ浮べて來ると、どうも我々は南方人とは同一系統だなと自然々々に感じる

かういふやうな住民であるから我々もこれを惡くしないやうに、彼等の依つて以て信頼するやうな日本人としての修練を積まなければならないことになる。現地住民に對しては恩威並び行ふ方針で軍政は進められてゐる

華僑の生活

南方と華僑、これは戰前から相當問題視されてゐた。支那事變間、重慶抗戰力の一翼を擔つて排日抗日をしてゐたことで我々は忘れることが出來ない。敵だといへば敵である。今や天の時いたり、南方華僑七百万の生殺與奪の權は皇軍の手に歸した

南方を旅行して誰しも驚くことは華僑が至る處に活動してゐることである。一寸した町、商店街には必ず華僑がゐる。町だけではない、どんな田舍にでも行つて生活してゐる。華僑は多くは南支から來た者で、支那本國とチットモ變らぬ服裝や住居をしてゐる。夜になれば屋臺店、軒を並べ、ガヤガヤ雜然としてはゐるが皆屈託のない顔をしてゐる

今度の旅行では至る處で華僑の金持といふのを見せられた。その一、二の贅澤振りを書いてみる。サイゴンには今、軍の管理してゐる黃文華といふ支那人の金持の建物がある。何んでも七人とかの子供のために同じやうな家をフランス式に造つて、一家眷族が一地域に住んでゐたとのことである

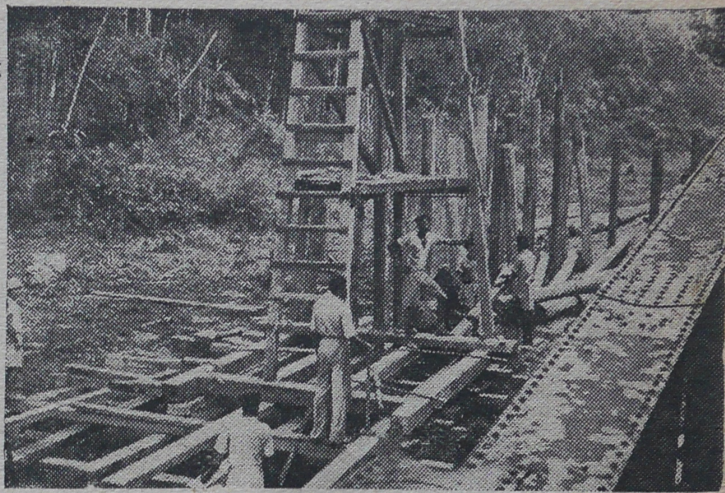
昭南には胡文虎といふ華僑の金持の家がいま空家になつてゐる。香港には余東璇といふ金持がゐる。この本宅は町の中にある。鐵筋コンクリートの五、六階建でエレヴェーターで昇降が出來る。部屋は、やれイタリア式、やれフランス式、母の部屋、主人の部屋といつた工合に全く贅を盡してゐる。その別莊が香港南側の海岸にある。日本にも大きな金持があらうが、こんな生活をしてゐるものはない

さて、かやうな華僑に對して日本軍は如何なる態度で臨んでゐるかである。既に華僑對策は決つてゐる。それはこの際、彼等を現地人同樣に生かしてやらうといふ政策である。全く以て大きな佛心である。華僑達もこれには流石に感激したらしく、その現はれとして五千万圓を獻金した。しかし、善良な日本臣民のならばいざしらず、かりそめにも重慶と通じ日本の政策を阻害するやうなことをしたならば容赦はしないといふ考へで進んでゐる

インド人の生活

インド問題が喧しくなつて來た今日、我々は南方にゐるインド人を通じてインドを知ることが出來る。それに南方では支那人に次いで活動してゐるのがインド人である。ラングーンや昭南の大通りにはインド人の商店が多く目につく。商賣もなかなか巧い。愛嬌もよい。商賣は總てマホメダン階級の獨占で組合組織になつてをつて、その團結はとても强固である。或る品物を一割上げると決まると一齊に實行される。實によく命令が徹底するさうである。しかし支那人の方はさらに商利商略に長けてゐるとのことである。南方にゐるインド人は現地住民に對し高利貸をやつてゐるものが多い。これがために現地住民は相當困つてゐる。今度、日本軍當局はこれを是正すべく庶民金融機關を作ることにしてゐる。現地における人々のインド人に對する感想を聞いて廻つたが、インド人の性質は支那人以上に複雜なやうである

日本人の生活

最後に我々の生活振りを述べてみたい。今は日本軍と軍政關係の人だけが行つてゐる。現地にをつた居留民は全部インドや濠洲へ連れられていつた。この頃、若干の人が歸つて來たが日本人は極めて少い。しかし滿洲事變や、支那事變の時のやうに所謂ゴロが一人もをらないから氣持がよい。皆んな一定の職を持つた人ばかりである。これ等の人は、今は敵の官公衙や官舍を占領して仕事をしてゐる。何しろ少い人で大きな仕事をやつてゐるのに驚く。例へば軍政監部である。その一部門である産業部を見て廻つたが、産業部といへば商工省である。それ

⇨敵に破壊された鐵橋の修理作業

⇦バンコクにおける飾窓利用の日本紹介寫眞展

には鑛業、商工、水産等の各課がある。課長さんは大體、事務官級の人がゐるが、課は屬官の人が一人、他は囑託の人が二、三人、後はタイピストが二、三人といつた總數二十數名位で商工行政をやつてゐる有様である。さらに地方行政の方をみると一層人が少い。一つの州に司政長官以下、自動車の運轉手まで入れて十二、三人、これで四國位もある所を治めてゆくのだから一人で百人分位の仕事をしなければならない。皆んな堂々たる事務所に頑張つて張り切つて仕事をやつてをつた

內地と違つて食物も豊富にある。果物もある。それに靴やカバンなど內地では手に入らぬものがある。そこに南方生活の魅力がある。しかし日本人はこれを心から嬉しがつてはゐない。それは、日本一億國民は今血みどろに戰つてゐるからである。こんな菓子を、こんなものを家の子供や女房にやりたいな、とは現地にある日本人の感情である

日本人は物を買ふことがとても好きだ。店屋は日本人で一杯である。まだ女がゐないからよいが、これで女が來たら嘸かしである

南方各地は原料國で一つも生産工業を持つてゐない。消費物資はすべて濠洲はじめ歐米、日本からの輸入品である

各地の日本人に會つた總括的所感は日本人はもつと大國民的襟度を持つことだ、もつとお互が理解し合つて仕事をしなければならない。お互一日を反省して善いことをしたか、と精神の修養をしなければならないのではないかと感じた。大東亞戰爭を完遂せんがためには一億國民が眞に協力一致、その總力を發揮して戰はなければならない。その理窟は皆よく知つてゐる。しかし實際の仕事に當つてみると、まだ／＼大いに我々はお互に修養すべき必要があると感じさせられた

南方は思つたより住みよいところだ。しかし何んだか家へ歸つてみたい氣がする。これが現地に働いてゐる日本人の皆が抱いてゐる感じである。オランダ人はこれを笑つて曰く『我々の本國は日本の二倍も遠い所にある。もう三十年も住んでゐるが一向に歸りたいと思つたことがない。それなのに、日本人は半年かそこらでもう歸りたいと云つてゐるではないか。そんなことではこの長期戰にはどうかと思ふ』と。これは慥かに我々には考へなければならないことである。これにはいろ／＼なことが考へられるが、總てが創業時代で適材適所でないところもあらう。お互の精神的融合が未だ出來てゐないこともその一因であらうが、やはり家庭がないこともその一因であり、故國を一千里も離れたところで夢みるのは子供の時に遊んだ山川草木である。今頃の內地は秋氣清朗の候だ、と何んともいひしれぬ懐しさを感ずる。しかし一面、皇國は今や存亡の戰ひをしてゐる、自分の都合など考ふべきではない、との強い感情も湧いて來る。それに精神的にみた南方には精神文化物が貧弱極まる。現地軍の出してゐる陣中新聞で世界ニュースや國內の事情を知るか、時々內地の放送を聞く位が關の山で讀み物がない。これが日本人にとつては一つの大きな悩みであつた。戰爭物資の輸送も素より必要であるが、この方面の必要性も忘れてはならないと感じさせられた

日本の啓發宣傳

各軍の宣傳部隊は作戰間の宣傳戰に引續き、今や軍政下の啓發宣傳に非常な努力をしてゐる。南方は文化的にみると非常に面白い。土着文化の上に支那文化、インド文化、回教文化、歐米文化等が雜然として存在してゐる。今や日本文化がこれ等すべてを融合統一すべき時期となつて來た。前にも述べたやうに文化的施設は貧弱である。現地人は一様に日本の國を知りたがつてゐる。これには凡ゆる方法が考へられなければならないが、寫眞宣傳はその中でも一番簡單明瞭な方法であると考へる。日本は歐米を敵として戰ひ勝つた。どうして勝つたかそれを知りたい。日本の飛行機はドイツから買つてゐるのか、自分で造つたのか、ソロモンの海戰の實況はどうかなど、これは皆、寫眞の裏付けによつて現地民衆の關心を昂めることが出來ると思ふ

日本語熱も日一日と盛んになつてゐる。今まで通用してをつた英語に速かに代らなければならない。現地の子供もなかなか頭がよい。愛國行進曲でも一ケ月位で立派に唄ふ。作文も上手に作る。教育指導すれば南方人も日本人同様立派になれると思つた

むすび

以上のほか産業建設の現況、俘虜の狀況等述ぶべきことは多々ある。産業建設は各地共極めて順調に進んでゐる。俘虜〇〇万の處理も南方の大きな問題である。彼等を見た所感は何んとしても戰爭に敗けてはならぬといふことであつた。戰ひに敗けたら自分の家も家族も何もあつたものではない。すべては終りである。大東亞戰爭はこれからが本戰である。吾人は緒戰の戰勝に醉ふことなく、いよ／＼奉公の大精神を固めて各その本分に全力を盡さなければならないと感じたのである

決意新たに

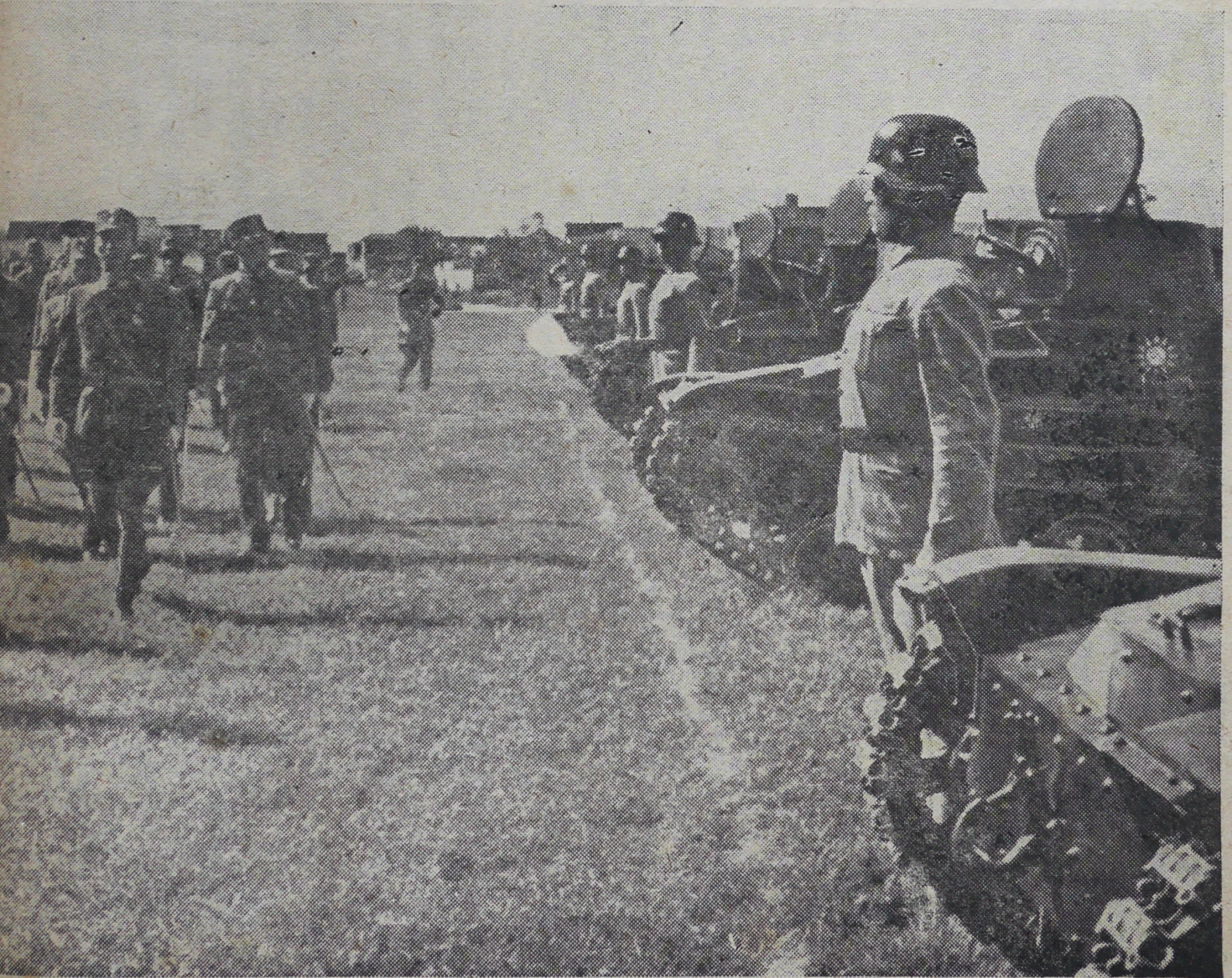
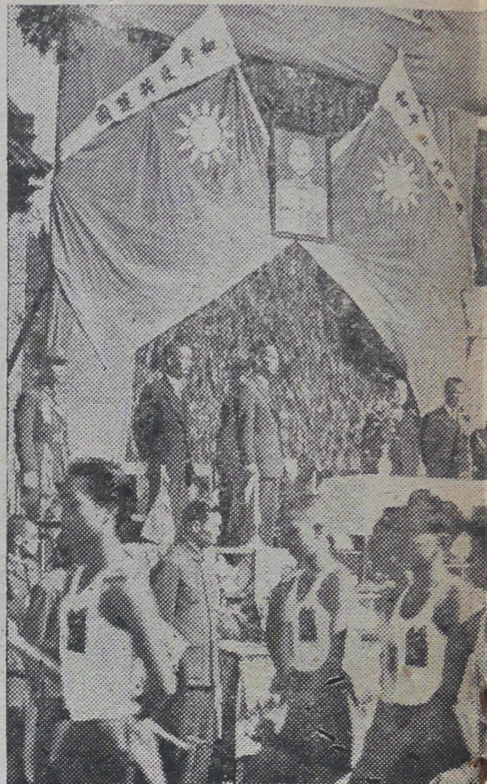
慶祝双十節

南京

⇨小營練兵場における閲兵式に臨んだ汪主席

友邦中華民國ではさる十月十日、大東亞戰下、初の双十節を迎へた。今から三十一年前の十月十日、中國國民黨員熊秉坤、蔡濟民等は武昌に起つて革命の第一烽火をあげたが、双十節はこの日を記念し、國をあげて新中國の誕生を祝ふ記念日である

この日、爽涼の氣滿つ首都南京は慶祝一色に塗り潰され、午前八時から大禮堂で式典、次いで國軍精鋭の大閲兵式、中國童子軍検閲式、首都運動大會等多彩な行事を繰り展げたが、『中國革命最後の段階である大東亞戰爭を完遂せよ』と獅子吼する汪主席に呼應して『中華復興』『東亞保衞』を叫ぶ民衆の姿は頼もしい限りであつた

撮影　支那派遣軍報道部

⇨中國の将來を双肩に擔つて颯爽たる中國の若人——國立中央大學校における首都運動大會⇦

⇨汪主席の閲兵をうける新鋭機械化部隊の威容

⇦堂々國軍の分列行進、航空部隊も空から參加

ドイツの戰爭生活を觀て

盟邦ドイツ國民の戰時下における生活ぶりについては、昨年の本誌第百九十二號でも、お傳へしましたが、こゝに再び盟邦ドイツを親しく観察され、最近歸朝された東京刑事地方裁判所の判事高田正氏のお話をお傳へ致しませう

闇のない生活

問　世界各國いづれも國運を賭して、戰つてをりますが、最後の勝利が樞軸側にあるべきことはいふまでもありません。しかしその勝利を獲得するには、國民總力の結集が必要であると思ひます。そこで最近の盟邦ドイツの戰時生活ぶりをお聽きしたいと思ひます。まづこの總力戰の最中、最近、日本でも遺憾ながら國民の中に、統制經濟を亂す不心得者がありますが、ドイツではどんなふうでせう

高田氏　今度の大戰はドイツにとつても絶對に負けてはならない大切な戰ひです。殊に負けた悲慘をつく〴〵前大戰において國民は味はつて知つてゐますから、割合に統制經濟の違反、いはゆる闇行爲などはやりません。尤も、中には多數の國民のことでありますから、多少はありますが、あつても極めて少數であり、もし檢擧された場合は相當な嚴罰に處されますから大體やりません

問　商人などが闇行爲をした場合は・・・・

高田氏　相當の嚴罰に處されます。殊に生活必需品を取扱つてゐる商人などは、店の閉鎖を命ぜられるとか、莫大な罰金、例へば二十万マーク(邦價約三十万圓)とか三十万マークとかの再起不能に近い罰金を科せられます。それでも懲りないやうな者は、いはゆる體刑を以て處斷されます。それですから、この嚴重な刑罰と國民の自覺もあり、兩者相俟つて非常に數は少いのです

問　わが國でもだん〳〵刑罰が重くなつてゆくやうですが、まだ〳〵ドイツの刑罰に比べて輕いのは・・・・

高田氏　それは政府が國民を信頼してゐるからであつて、生活必需品などの配給がうまく行かない場合には、國民の生活が不安になり、ひいては今度の戰爭にも勝ち抜くことが出來ないことにもなる譯です。從つて政府では盟邦ドイツのやうに闇行爲に嚴罰を以て臨んでもいゝのですが、そこまで行かないのは、國民の自肅自戒、即ち、日本國民の傳統的精神であるる日本精神に愬へてゐる譯でありますから、國民もこの政府の期待に背かないやうに、大國民たる襟度を以て闇行爲の絶滅に協力して欲しいと思ひます。この外、ドイツに滯在中、わが國でもぜひ實行して欲しいと氣づいた點が二、三あります

問　それは何でせうか

高田氏　體育に熱心な點とか、日本ならば隱居の年輩ですが、働いてゐること、泥醉者のゐないことゝか、規律正しい點などです

問　戰爭と體育は殊に關係があります。ドイツがあの破竹の勢ひでヨーロッパ各國を席卷してゐるのは、強い兵隊、つまり強い國民に負ふことの大であることはいふまでもありません。ドイツではどんな風にして健康に留意してゐますか

高田氏　ドイツでは民族の教育は、單なる知識の注入ではいけない、健全なる肉體には健全なる精神が宿るといふ建前で進んでゐまして、たとへ學力は低くても、健全なる肉體と決斷力を有してゐる者の方が利口で、虚弱な者より秀れてゐるとしてをり、輝かしき肉體の育成といふことを目標にして教育してをります

ドイツ國民の新鮮な空氣と、日光への欲求は我々からみると非常なもので、大抵就寢する時は寢室の窓をあけ放し換氣に努めてゐます。これは嚴冬の候でも變りなく勵行してゐますが、それは必ずしも自分達成年ばかりでなく、生後まもない乳呑兒をすら、一定時間、乳母車に乘せて大氣中にさらしてゐる位です。それは注意してみてゐますと、どんな寒い冬の季節でもやつてゐます

このことは地圖でご承知のやうに、首府ベルリンさへ日本の樺太國境より緯度からいふと二十度も北にある關係をお考へになれば分ることで、日光に惠まれる期間は僅かに五月から八月迄の四ケ月であるため、誰に指導されるといふ譯でなく、自ら常に日光の大切なことを知つて吸收に努めてゐる譯です。夏になるとベルリンやその他の市の郊外に、裸かになつた群が一日中、日光浴してゐるのを見ることが出來ます。これなども強健なる身體は民族發展の根幹をなすといふ政府の宣傳にもよりますが、國民自らも行つてゐるわけです。その他かういつた健康上留意してゐる點で、わが國でも他山の石とする點が非常に多いやうに思ひました、

醉つぱらひに制裁

問　次ぎに老人が働いてゐるといふことでしたが、それは勞働力の不足からきてゐるのぢやないでせうか

高田氏　それもありませう。しかし一般に昔からさうなので、わが國ならば隱居する年輩の人々がそれ〴〵の職域において國家のために働いてゐることは、勞働力不足の際、わが國民の範とすべき點であるやうに思ひます。例へば電車の運轉手とか、圓タクの運轉手といつた相當神經を使ふ肉體勞働にも從事してをれば、頭腦的職業方面に行つては、大學の教授といつた人々も熱心に研究にいそしんで、新らしい研究成果の發表をしてゐることは驚くべきことです。このことは、わが國の知識階級の人々の省みて冷汗三斗の思ひのすることのやうに思ひます

また、これは餘談になりますが、一體、わが國の人は酒に醉つて街上で醜態を演じてゐる者を見ても、笑つて割合に寛大にこれを許してゐますが、このことは國威の發揚上寒心すべきことで、このため大東亞共榮圈内においてすら、かなり支那人、滿洲人などから輕蔑されてゐることを見聞します。盟邦ドイツでも酒を嗜む者は少くありませんが、飲酒のあげ句、泥醉して一般公衆の顰蹙を買ふやうな者は一人もをりません。親衛隊の如きは隊規の嚴格を以て鳴つてゐるのですが、飲酒の結果、醜態を演じたやうな場合は、嚴重な制裁にあひます。かういつた風紀に對する良習慣もこれからの日本

は、些細なことのやうでありますが、飽くまで必要のことのやうに痛感します。この點は日本に歸つたら、特に強調したいと思つてゐました

規律正しい生活振り

問　それからドイツでは物を粗末にしないといはれましたね

高田氏　これは子供の時から躾けられるやうでして、例へば食物などについていへば、どんな高官でも皿にある最後のソースの一滴まで綺麗に飲んでしまひます。また皿に料理の殘滓があれば、パンまたは馬鈴薯などで綺麗にふき取つて一物も剰さないやうにする、かういつたことを我々は會食でたびたび目撃して、内心わが國を顧みて、甚だ恥づかしく考へたものでした

問　食物の場合など戰爭後、食糧が不足して來たからではないでせうか

高田氏　そんなことはありません。ドイツは元來、今いつた通り日本よりずつと北に位置する國ですから、食糧が日本ほど十分でない、そのためにかういつた良習慣を生み、延いては物全般に及んで粗末にしないといふことになつたのでせう。かういつた非常時局においては特にわが國民も模倣すべき點であると痛感しました

私は規律の正しいことは、豫てから聞いてゐましたが、時間を嚴守することは實に恐ろしい位で、私はドイツ人と約束するのは努めて避けるやうにしてゐました。そのことは、若し時間に遲れるやうなことがあつたら、日本人はだらしがない、延いては日本はだらしがないといふ感じを相手に與へることを虞れたからですが、ドイツ人は會合などの場合、どうでも遲れないやうに、豫じめ途中の交通機關の故障までも勘定に入れて家を出かけます。もし約束の時間より早目に到着した時は、その邊を散歩でもして規定の時間の來るのを待つ、といつた工合に規律正しいものです。これは長期戰に勝ち拔いて大東亞共榮圈といふ大きな事業を打ち立てる日本にとつては、大いに學ぶべき點であると思ひます。たとひ僅かな時間でも積り積れば莫大なものとなつて、國家に及ぼす損害は絶大なものがあります。盟邦ドイツも勿論、長所ばかりとはいへませんが、かういつた點は特に採り入れて、即日實行して欲しいものです

ベルリンの軍事郵便集配所に山と積まれた前線慰問品

大切な青少年の躾

問　ご尤もなことです。この頃、大分日本もその點は改善されて來たやうに思ひますが…

高田氏　大分よくなつたやうです。最後にドイツでは日本と建物が違ふ點もありませうが、大人と子供とは、その世界を實に嚴重に區別してゐまして、大人が用があつて外出する場合など子供を絶對に同伴しません。それですから大人が自分達の娯樂や慰安を求めに行く時は、なほ更です。來客などがあつた場合、日本ですと子供が勝手に入つて來て、わいわい言つて主客とも大いに迷惑するといつたことがありますが、そのやうなことは全然なく、親の許しがなければ出入することは絶對にしませんし、殊に目立つことは、電車、バスなどの中では幼兒も少年も座席を取らず大人に讓つてゐることです

問　善くいつて獨立の精神を養ふ、惡くいつて個人主義から來てゐるのぢやないでせうか

高田氏　個人主義ではないやうです。家庭の躾から來てゐるのです。大人に席を讓る點など聽いてみますと、大人はそれぞれの職域において國家に御奉公してゐるのだ、それに反しわれわれ子供は何の働きもしてゐない。だから、せめて自分達は立つてでも大人に席を與へ、大人に休養をさせて、明日の働きを希はうといつた精神から出てゐるやうです。これなど誠に見よいことです

わが國でもこれからの日本を背負つて立つ、第二の國民の躾といふことは實に大事なことで、その躾の良否は、勢ひ國運の消長にも關係することゝ思ひますから、早速採り入れて、良い第二國民を養成して、國家の要請に應へたいものです

問　これらの點は小さいことのやうですが、ドイツの大勝利を得た原因のやうですね

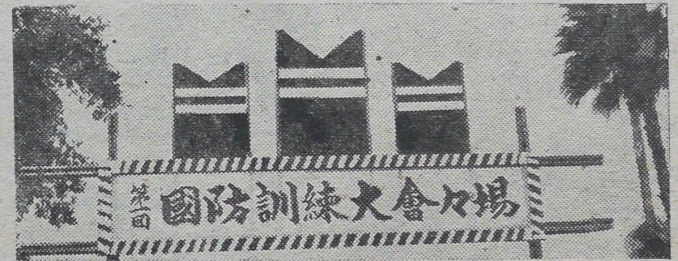
高田氏　まだ數へればドイツに學ぶべき點は幾らもありますが、いま述べたやうな點が特に日本から行つて氣がついた日本に立ち勝つてゐると思はれる點です

日本は緒戰で英米に痛撃を與へましたが、本格的の戰ひは正にこれからで、最近の情勢は第二段階に入り、長期戰化して來ました。これからは國民が緊褌一番、頑張りの強い國が勝つことはいふまでもありません。わが國も盟邦の美點長所を剩すところなく採り入れて、一億一心、心を戮せて、聖戰の完遂、大東亞共榮圏の確立に邁進しなければならんと思ひます

二十五キロの砂嚢を擔つて强行また强行

⇦ 若人たちの龍攘虎搏

臺灣に國防訓練大會

臺北

南の基地、臺灣に豪華な健民の繪卷――臺灣ではさる十月十日、十一日の兩日にわたり皇民奉公會中央本部主催にかゝる初の國防訓練大會を臺北に開いた

競技種目はこれまでの五輪主義を一擲し、國防訓練の名にふさはしく第一日荷重强行軍、相撲、長距離繼走、第二日戰場運動、銃劍術、自轉車競走等であつたが、全島から馳せ參じた若人たちは鄕土の榮譽を擔つて眞摯敢鬪、明後年から實施される志願兵制度を目指して健兵臺灣の意氣も高らかに、豫期以上の成果を收めて終了した

火を吐く激戰――戰場運動 ⇩

撮影 倉橋 勇

第一回 國防訓練大會々場

⇧肥沼さん一家の團欒ぶり――右から次女智惠（二二）さん、長女壽万（二四）さん、七女智子（四つ）ちやん、七男秀雄（二つ）ちやん、お母さんのかつ（四三）さん、六女蔦子（六つ）ちやん、四男毅（一二）君、三男芳夫（一三）君、五女良子（一四）さん、六男修（八つ）君、五男忠興（一〇）君

お父さんの忠助（五〇）さんは所用で旅行中、山中電氣に出てゐる長男哲夫（二〇）次男浩（一八）の兩君は夜勤で不在、三女富子（二二）さんは養女に行き、四女照子（一六）さんは世田谷の親戚に手傳に出てゐて留守といつた塩梅で、カメラにおさまつたのはお母さんを中心に子寶十人――

それにかつさんのお腹にもう一人、來月がお產だといふお芽出度續きである

北海道も奥地、北見のまた奥、隣家へ三十町、學校へ二里といふ靜寂境、こゝにも表彰に輝く子寶部隊がある。富永林治（四五）さん、サガミ（四四）さんの兩親を中心に十男四女の子寶が賑やかに生ひ立つてゐる⇩

撮影　北海タイムス社

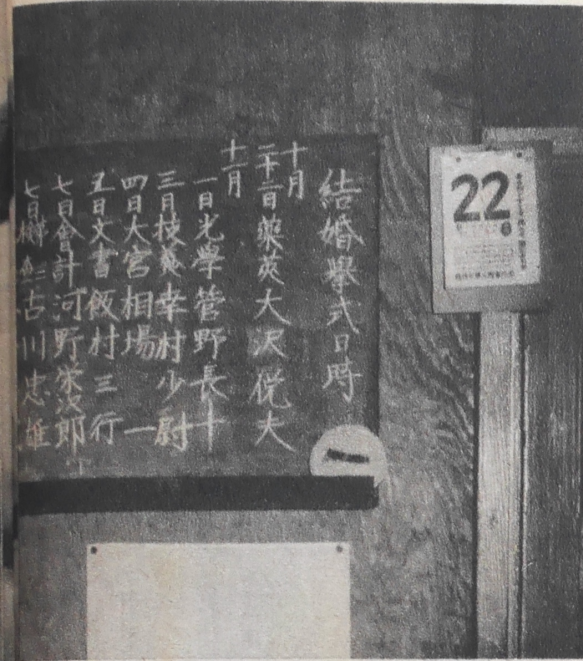
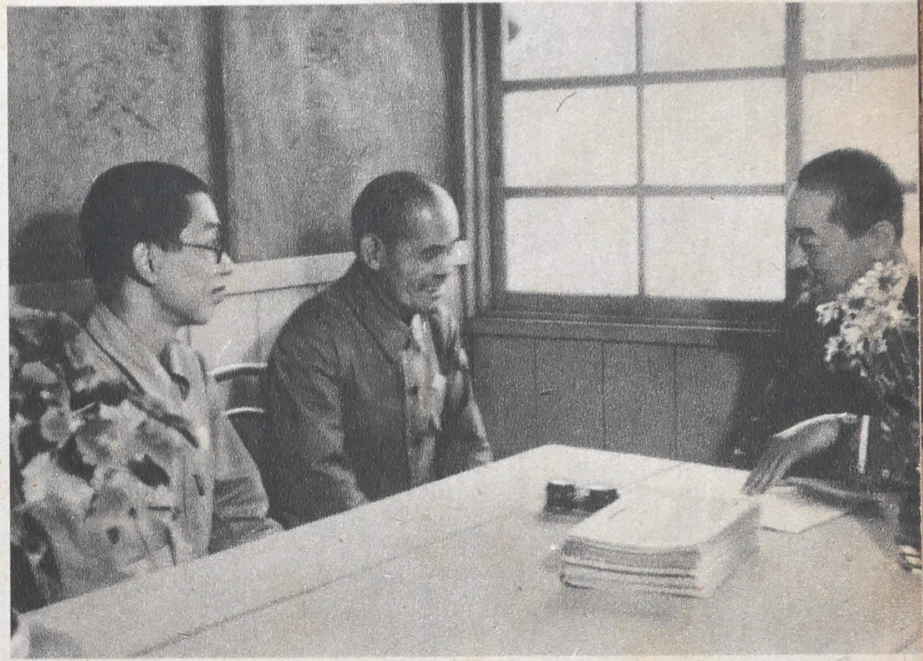
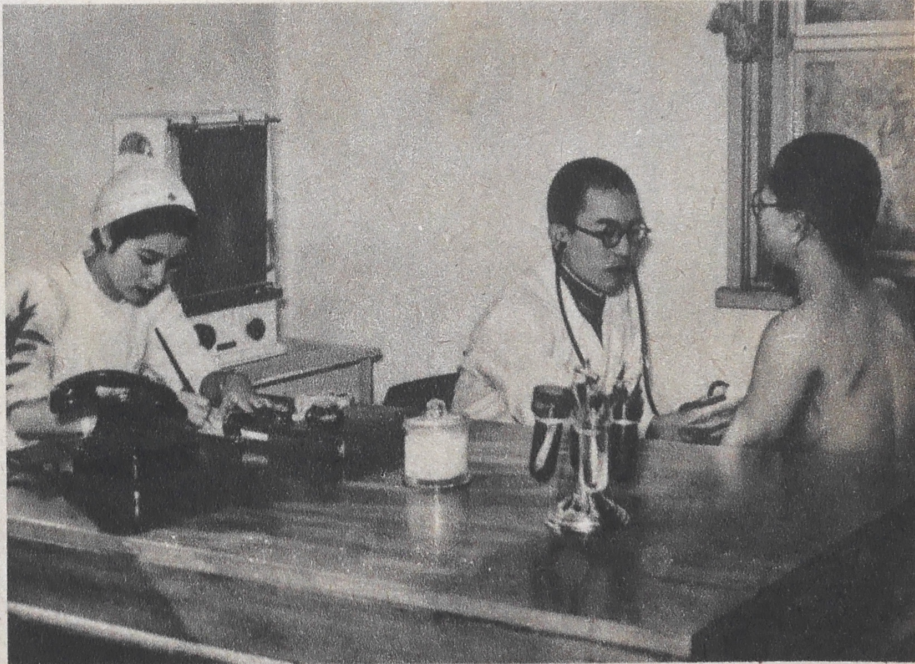
輝く子寶日本一

輝く皇國の子寶部隊、殊勳の千五百二家庭が菊の佳節の十一月三日厚生大臣から表彰を受けました

『父母を同じうする嫡出の子女にして滿六歳以上の者十人以上を天災地變戰役等に因る外一人も缺かさず父母自ら心身共に健全に育成した堅實な家庭』

といふ條件に合格した日本一優良多子家庭ばかりだが、今年は昨年度設けられた子寶部隊長へ厚生省から贈る御褒美の育英資金も初めて贈られることとなり、今年は中等學校二百二十六名（内女子百名）專門學校以上二十七名計二百五十三名に贈られました。今年の最優秀組は十四人の子寶をもつ家庭でそのうちの一組、帝都の肥沼さんの御家庭をみるとお父さん五十歳、お母さん四十三歳の間に六男八女、この大部隊を育てあげた努力は大したもの。さて皆さん、この人口問題の大事な折から世界人口戰に華々しく打ちかたうではありませんか

同じ職場から新郎新婦

東京第一陸軍造兵廠

⇨『まあ伜もどうやら一人前になりましたんで……』相談所の主任の前で和やかに眞面目な話がすゝめられる。女には婦人の係が親身になつて話をすゝめる

⇨健康診斷書は廠内病院の軍醫さんが

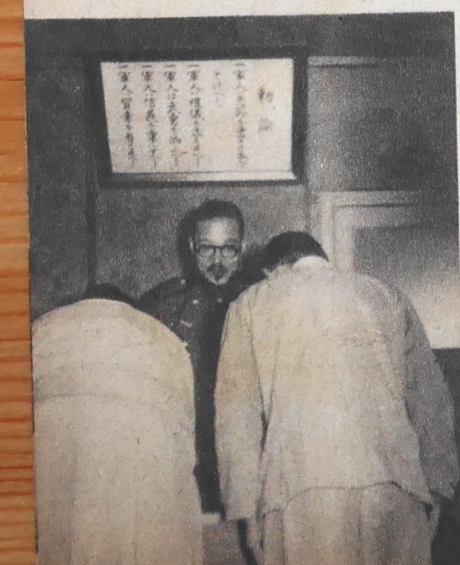
⇨相談所長の前で今日は結納を取かはして、とゝに又新らしく親心の實がむすばれた

⇨ 擧式の日割をぎつしりと——黒板は相談所の繁昌ぶりを雄辯に物語る

⇦ 芽出度く結ばれた晴れの日、神前に誓ふ明日からの新らしい生活への決意をこめて玉ぐしを捧げる手先もよろこびにかすかにふるへる

⇨ 職場は最も神聖な人生道場だ。やがて入る結婚生活もこゝで鍛へた精神でやつていから。それが妾の生き方なのだ

お國のためによい子を澤山生むためには、適齢期にある若い方々にどし／＼結婚していたゞかなければなりません。そのために各府縣公私團體でも結婚相談所その他の機關を設けて、できるだけお仲人の役を勤めてゐるのです。これまでは『同じ職場の結婚』といふと兎角誤解をまねき勝ちで、あまり賛成されなかつたのですが、健全な結婚はむしろどし／＼奬勵して一組でも多く結婚生活に入つていたゞきたいのです。そこで男女適齢者を澤山もつてゐる大工場等でも積極的に職場結婚を奬めてゐるのですが、東京第一陸軍造兵廠では全從業員の四割を占める女子工員、とくに地方から親許を離れてきてゐる適齢者達に、婚期を遲らせまいといふ親心と人的資源の擴充といふ立場から結婚相談所を設け、親許への相談から健康診斷書作成、式や簡素な披露はもとより婚姻屆までの世話をして早くも八十二組をまとめ、年內には百組を超えようといふ朗かな結婚總進軍ぶりを見せてゐます

⇦ 『いろ／＼お世話になりました』新生活に入つた二人は新らしい決意をもつて職場に入る前、相談所長に心から感謝のことばを述べる

自給自足の純綿です

山梨縣大同村

⇧棉の木は揃ひの純白な帽子をつけた。村はいま總出で棉の採集だ

⇨ 段當り八十貫の大豐作。村の本通りは積み出される棉の車でふさがるばかりだ

〈 〈 〈

衣料生活の自給自足をはかつて、『物の戰爭』に長期戰態勢をうちたてようと、山梨縣の棉を作る村、西八代郡の大同村では、すでにずつと以前から棉花を栽培して、衣料生活の設計をはじめたが、その着實な努力が實を結んで、いまや段當り收量八十貫を越えようといふ立派な成績を收め、この分ならことしは衣料切符も熨斗をつけて全部返上できようといふ嬉しい見込。棉の實の採集期に入つた同村では、お米のとりいれを終へて息つく暇もなく、いま新棉の增産に大多忙だ

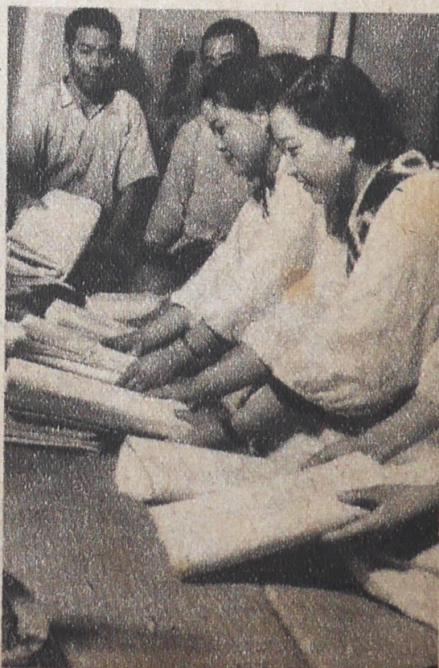
〈 〈 〈

撮影　幅　忠　次

⇦ 丹精こめて作つたこの果報。純白な棉はいま籠にあふれる

⇨ 稻作、麥作の片手間に作つた棉が、立派な綿布となつて歸つてきた

⇦ わたしたちの棉でできた純綿です。これで下着を作つてあげたら戰地の兄さんもきつと喜んで下さるでせう

銃後のカメラ

國民學校のイナゴ討伐隊

宮城縣　岩淵友義

宮城縣古川國民學校の『ヨイコドモ』たちは、收穫期の田圃にはびこる稻の害敵イナゴを退治しようと三千名が總出動して大がゝりなイナゴ討伐隊をつくり、秋晴れの十月五、六、七の三日間附近の田圃一帶に大殲滅戰を展開しましたが、各部隊競爭で捕獲しましたので、三日間の戰果は三十二石にも及び、榮養價に富んだ美味しい食味を各家庭の食膳にどつさりおくりました

1 ソオッとイナゴに忍びよるお手々の包圍網

2 大休止してお辨當をひらくイナゴ討伐隊

3 獲れる〳〵、面白いやうに。袋はいつかイナゴで一杯だ

國民演劇

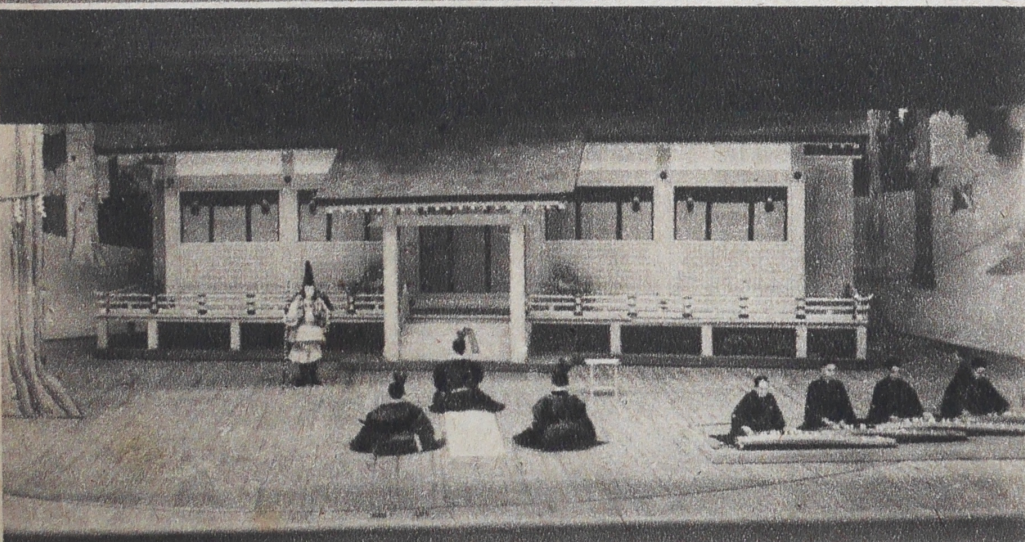
情報局國民演劇參加作品

吉田弦二郎作『忠靈』

松本幸四郎一座十月十一月公演

於東京歌舞伎座

深山の神殿に戰勝を祈念する御使を前に、甲冑姿に身を固めた武將の姿で忠靈が現はれ、『君を守り奉り、仇を防ぎ國に報ゆる心』を語り、雲をよび戰場の空にかき消えるといつた筋で、夢幻的雰圍氣の裡に崇高、嚴肅な氣魄の舞臺に漲る、國民の士氣昂揚に資するところ多き舞踊劇である

復習室

本號からあなたは何を學んだでせうか？

1 海軍志願兵の志望者ですが、願書は何處へ出せばよいのでせう？……（3頁）

2 マレー、ボルネオ、ビルマ方面から拉致されてゐた邦人は日英交換船で歸つて來ましたが、その大部分の人たちは何處で働くことになりましたか？……（8頁）

3 南方作戰では米英蘭濠などの敵兵がうんと捕まりましたがこれら敵俘虜の數は約〇〇〇〇です……（11頁）

4 政府から表彰された子寶家庭は全國でどの位あつたでせう？……（17頁）

5 海軍志願兵の兵種のなかに飛行兵はありますか？……（3頁）

6 南方共榮圏には至るところに華僑が根強く生活してゐますが、その數は五百万？　七百万？　八百万？　一千万？……（10頁）

7 隱居者や泥醉者の數は日獨どちらが多いでせう？……（14頁）

8 少年水測兵――河の流水速度を測る兵？　潮流を測定する兵？　敵艦船の所在を測定する兵？……（3頁）

9 日本一の子寶家庭に惠まれた子寶の數は――十人？　十四人？　十六人？　二十人？　二十五人？……（17頁）

10 私は廣島縣の滿十六歳の少年ですが、今から海軍志願兵になれるでせうか？……（3頁）

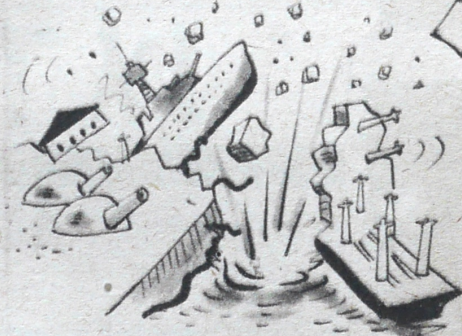
一問十點としてあなたは何點でしたか？

海軍關係寫眞の複寫複製は海軍省承認濟（第五二一四二二號）

照準器

くろがねの夢

杉 柾夫

1 海にあこがれる太平洋太郎君がこんな夢をみました

2 月々金々がんばつて

3 征きますと出陣だ

4 神出鬼沒の放れ業

大西洋

5 叩き込んだぞ、ニューヨークへ

6 パナマ運河も破壞した

7 この手柄、知つて銃後は沸き上る

號外

8 ハテナ、アリヤ、號外の鈴の音は??

大東亞戰爭漫畫日誌

石川進介

我が本土上空襲の米驅鬼兵を處斷

佛印來襲の敵機全機擊碎

マダガスカルの佛軍頑强に抵抗

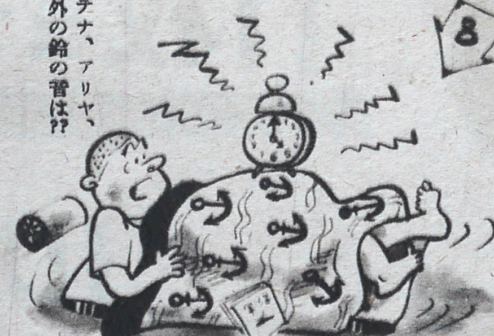
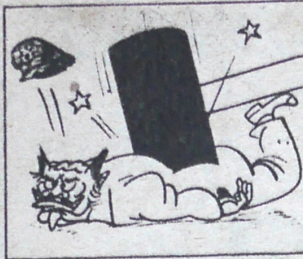
反英の火焰全印に擴大

靖國の日に敵庸護機のお目見え

南方資源を失つた米魔の手を伸す

★表紙

僕は海軍志願兵です。志願兵になれる年齢は、一般水兵十五歳から二十一歳まで、少年水測兵、少年電信兵十四歳八ケ月から十九歳まで、飛行兵十四歳八ケ月から十八歳まで、軍樂兵十六歳から二十歳までです

寫眞週報（禁轉載）

昭和十七年十一月四日印刷發行

編輯者 東京市麴町區永田町一ノ一 情報局

印刷者 發行者 東京市麴町區大手町 內閣印刷局

定價	申込所
一部十錢（送料一錢）（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢） ▲豫約配送御希望の方は一部十錢（送料一錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい ▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます	全國各地官報販賣所 書店・驛賣店 新聞販賣店 寫眞材料店

本誌を戰地にお送りになる場合には送料は內地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一錢、二部二錢です

寫眞週報
昭和十三年二月十二日 第三種郵便物認可 昭和十七年十一月四日發行（毎週一回水曜日發行）

第⊖回売出
11月1日ヨリ
15日マデ

1枚2円

割増金
1等1000円
以下多数

當籤割合
11枚ニ付1枚

抽籤
11月20日

抽籤の濟んだ切手は五枚以上まとめて郵便局へお差出しの上、特別据置貯金證書と引換へて下さい。

內閣印刷局印刷發行

（本書の大きさは國定規格A4・「週報」倍判）